

統計とっとり

統計課ホームページアドレス <https://www.pref.tottori.lg.jp/toukei>

令和2年3月
第109号

鳥取県令和新时代創造本部統計課
TEL 0857-26-7665
FAX 0857-23-5033

令和2年は国勢調査の実施年です。

国勢調査は、日本国内に住むすべての人と世帯を対象とする、我が国で最も基本的な統計調査です。大正9年以来5年ごとに実施されており、今回の調査で100周年を迎えます。調査の結果は、国会議席や税の配分を決めるための資料となるとともに、福祉施策や生活環境整備、災害対策など、幅広い分野で活用されています。

概要

調査の期日 令和2年10月1日

調査の対象 日本国内に住んでいるすべての人（外国人を含む）及び世帯

調査の事項 ◎世帯員について（15項目）

「氏名」「男女の別」「出生の年月」「世帯主との続柄」「配偶の関係」「国籍」
「現在の住居における居住期間」「5年前の住居の所在地」「在学、卒業等教育の状況」
「就業状態」「所属の事業所の名称及び事業の種類」「仕事の種類（職業）」
「従業上の地位」「従業地又は通学地」「従業地又は通学地までの利用交通手段」

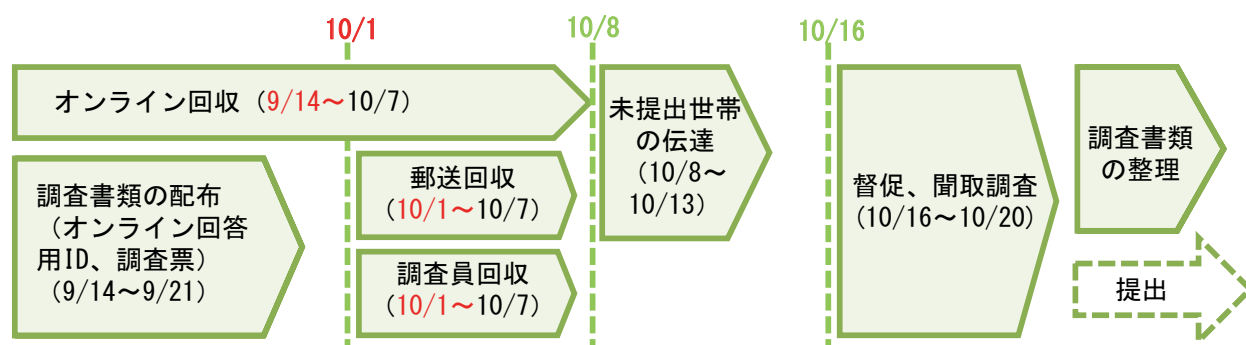
◎世帯について（4項目）

「世帯の種類」「世帯員の数」「住居の種類」「住宅の建て方」



調査の方法

今回はオンラインIDと調査票を同時に配布します。（回収期間は異なります。）



H27年国勢調査では鳥取県全体で39.2%（オンライン回答率）
県内で回答率が最も高かったのは日吉津村で46.0%でした

☆オンライン回答のメリット

調査員のメリット	調査世帯のメリット
◎調査票の回収が不要になる。 ◎調査員による調査票の検査事務が不要となる。 （オンライン回答データはシステムによる自動チェック） ◎調査票の紛失・盗難の恐れがなくなる。	◎調査票の回収よりも早い時期から回答できる。 ◎24時間いつでも・どこでも回答できる。 ◎郵送や調査員への提出が不要となる。 ◎回答内容の自動チェック機能・入力支援機能により回答内容についての問合せが少なくなる。 ◎回答は暗号化されて送信されるため、個人情報を安心して回答できる。



新たな取り組み

◎対応言語の拡大

国勢調査オンライン調査システム（インターネット回答ページ）が6か国語対応（英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語、ベトナム語、スペイン語、ポルトガル語）となります。なお、紙の調査票は引き続き27言語に対応しています。

◎コールセンターの充実

外国人世帯からの照会に対応するために通訳オペレーターが設置されます。また、聴覚障がい者からの照会に対応するため、SNSによるチャット形式による問合せ窓口も設置されます。

国勢調査は100周年

大正9年（1920年）に第1回調査がはじまり、令和2年（2020年）で100周年を迎えます。主なデータで、100年を振り返ってみましょう。

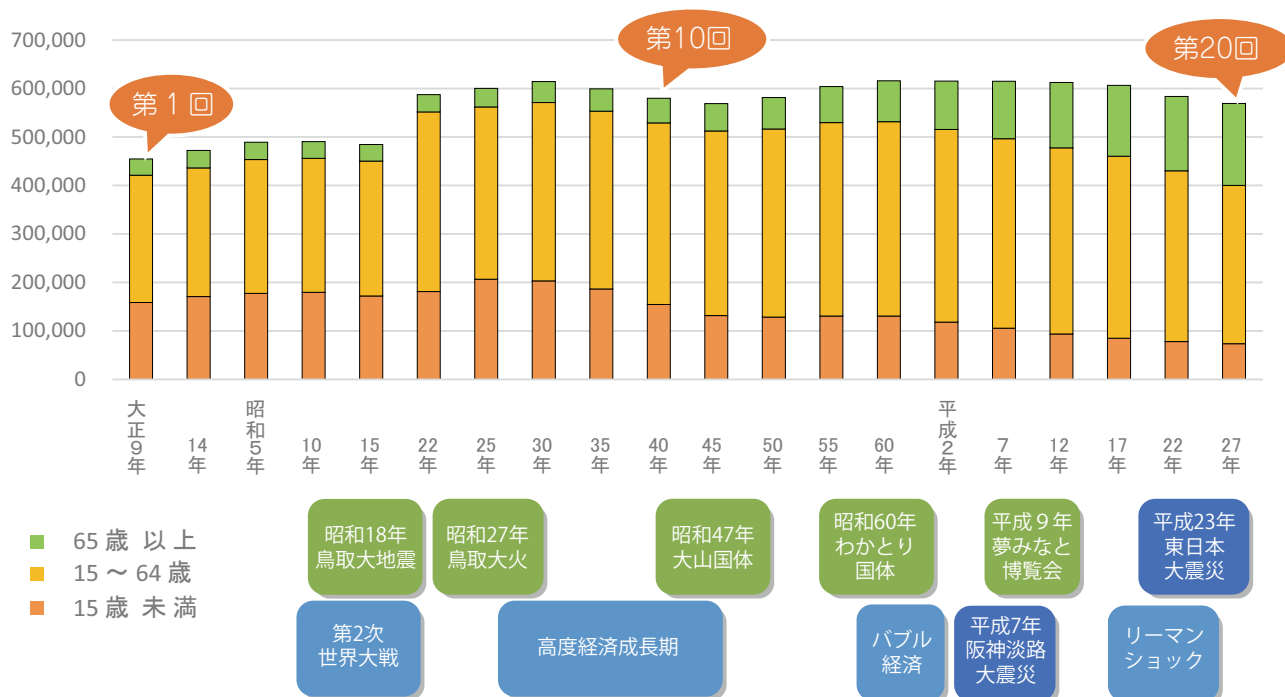
◎鳥取県版大正→昭和→平成の人口・世帯の変化

		第1回 大正9年（1920年）	第10回 昭和40年（1965年）	第20回 平成27年（2015年）
人口		454,675人	579,853人	573,441人
三区分別人口※1	15歳未満	158,675人	154,589人	73,685人
	15～64歳	262,362人	374,525人	326,301人
	65歳以上	33,638人	50,739人	169,092人
世帯数		91,499世帯	134,666世帯	216,894世帯
1世帯（普通世帯）当たり人員		4.90人	4.31人	2.59人
労働力人口※2		234,374人	295,379人	292,349人
労働力率		79.2%	69.5%	60.5%
産業別就業者数	第1次産業	162,828人	116,520人	24,671人
	第2次産業	32,824人	57,201人	59,764人
	第3次産業	41,803人	117,617人	187,826人
外国人人口		364人	1,685人	3,384人

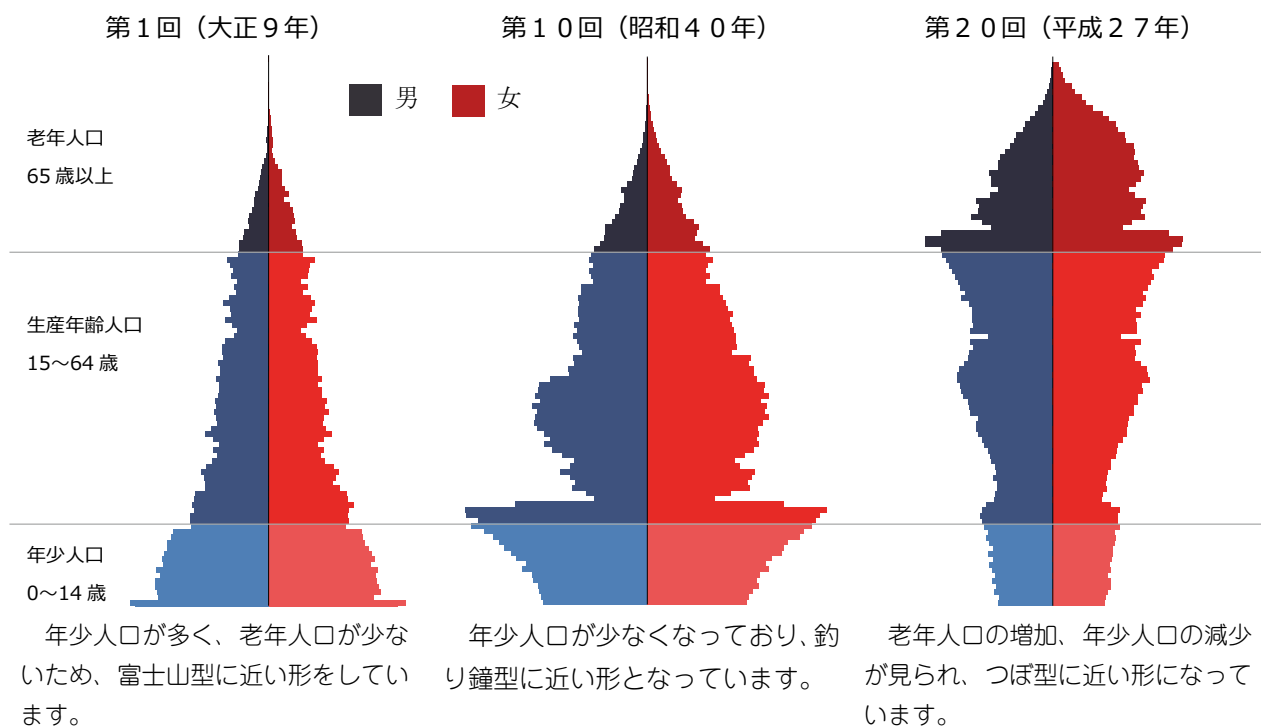
※1 年齢「不詳」人口を除く

※2 大正9年（1920年）の労働力人口は、15歳以上の有業者数

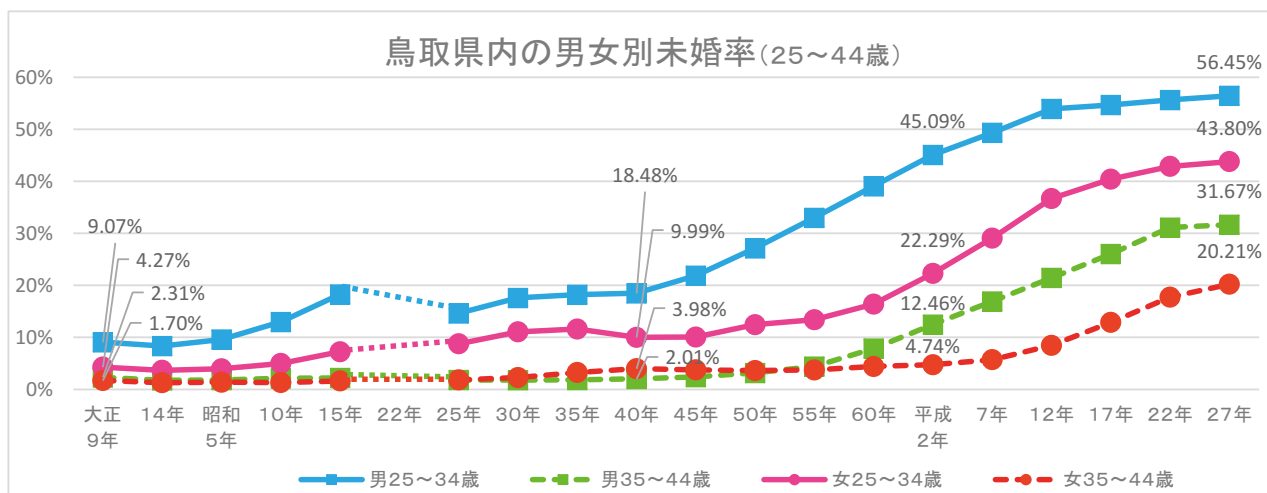
◎鳥取県の人口は昭和60年代をピークに、減少傾向となっています。



◎100年前と比べると鳥取県の人口構造が大きく変化してきました。



◎100年で男女とも未婚率は上昇しました。



※1945年は該当数値が無いいため点線で表している。

国勢調査結果の活用例

◎地方交付税の配分

国勢調査の調査結果の「人口」「町村部の人口」「市部の人口」「65歳以上人口」「75歳以上人口」「林業、水産業の従業者数」及び「世帯数」などが配分額の算定に用いられています。（地方交付税法第12条）

◎衆議院の小選挙区の改定

各選挙区の改定案を作成するに当たり、各選挙区の人口（最近の国勢調査の結果による日本国民の人口）を用いることが定められています。（衆議院議員選挙区画定審議会設置法第3条）



◎市、指定都市、中核市となる要件

地方自治法で用いる人口は官報で公示された最近の国勢調査又はこれに準ずる全国的な人口調査の結果による人口とされています。そのため、地方自治法で人口を要件としている「市（地方自治法第8条）、指定都市」、「中核市（第252条の19、第252条の22）」となるための要件では国勢調査の結果が用いられています。

◎過疎地域の認定

国勢調査の結果を基にした市町村の35年間の人口減少率が一定の基準を超えた場合等により「過疎地域」として認定されます。（過疎地域自立促進特別措置法第2条）

◎鳥取県の将来ビジョンの策定

県内の人口や年齢階級別人口などの時系列データを利用することで現状把握のための基礎資料として利用されています。

◎防災計画の策定、被害予測

人口、人口密度、人口分布（都市部では昼間人口）等が基礎資料として利用されています。

～ほかにも、少子高齢化対策、医療・福祉政策、地域産業の振興と雇用対策、都市・交通計画、住宅建設計画や学術研究等への利用、他の重要な統計を行うための調査対象の選出基盤（標本調査の抽出フレーム）など、幅広く利用されています。～

e-Statを御存じですか？

政府統計の窓口「e-Stat」では、政府統計の調査結果を探すことが出来ます。

過去の国勢調査結果の検索はもちろん、データを視覚的に分かりやすく見ることが出来る統計ダッシュボードや、データと地図を組み合わせた分析のできるJstatMapなどの機能があります。

調査の説明のための利用や、御自身が担当された調査の結果を見るなど活用していただけますと幸いです。



鳥取県国勢調査実施本部が発足しました！



令和2年2月3日（月）に鳥取県令和新時代創造本部統計課内に実施本部を設置しました。

実施本部では主に「広報及び調査協力依頼に関すること」として、統計課ホームページに国勢調査2020特集ページの開設と更新、イベントや街頭等での広報活動を、「国勢調査の正確かつ円滑な実施に関すること」として、インターネット回答の推進、市町村調査事務の支援、指導員調査員の安全対策などの活動を行います。

また、実施本部の立ち上げに先立ち、県では、令和元年10月18日（統計の日）に、**国勢調査2020特集ページ**を立ち上げています。

ここでは、調査や広報活動の情報に加え、過去の国勢調査の結果から鳥取県の歴史を紐解くコラムやクイズなど、多くの方に国勢調査に親しんでいただける内容も充実できるように更新しています。是非、ご覧ください。



登録調査員研修を開催しました！

今年度はオンライン調査の講義でタブレット操作の研修を行いました。普段パソコンやタブレットに不慣れな方も、周りの人と協力して、電子調査票に入力することができました。

開催日・会場

- 11月27日（水）東部会場（県庁）
- 11月28日（木）西部会場（西部総合事務所）

内容

1. 講義「統計調査について」
2. 講義「オンライン調査について」
「オンライン調査デモ版操作実習」
「応接・クレーム対応」
3. 班別意見交換会
テーマ①「調査活動における成功した事例、成功に至った工夫や日頃心掛けている工夫」
テーマ②「調査活動において困った事例、困難だった事例（解決した場合はその対応方法や方策含む）」



応接・クレーム対応のポイント

- ◎まず相手が何に対して怒っているのかを理解する。
- ◎聞くときは相槌を打つ、復唱する、瞳を見つめすぎないなどに注意する。
- ◎自分に非がある時は謝り、他の理由の場合は解決方法を提案する。
- ◎理由ごとの対処例
忙しい→日を改める。
調査に不信感がある→調査員証の提示や調査の趣旨を丁寧に説明する。
個人情報の懸念→統計法で保護されていることや調査員の守秘義務について説明する。

登録調査員初任者研修（鳥取県主催）

これから活躍が期待される調査経験の浅い方に向けた研修として、初任者研修を行いました。講義のほか、長年活躍されている先輩調査員との意見交換会も行いました。

開催日・会場

- 5月22日（水）中部会場（中部総合事務所）
- 5月23日（木）東部会場（県庁）
- 5月24日（金）西部会場（西部総合事務所）

内容

1. 講義「統計調査に係る基礎的・実践的内容」
 - ・統計の役割
 - ・統計調査の仕組み
 - ・統計調査員の役割
 - ・統計法規
2. 講義「不適切な調査活動の事例」
3. 講義「統計調査結果の活用事例」
4. 意見交換会

助言者 山口 初江 調査員（中部会場）
岡田美恵子 調査員（東部会場）
倉敷 千歳 調査員（西部会場）



先輩調査員から、言葉遣いや挨拶・マナー、お年寄りの調査は代筆可能か事前に確認してから行っていることや、調査の手引きを予習する、説明の際には調査結果の活用事例を紹介するなど、日頃調査の上で気を付けたり工夫されていることを丁寧にお話しされ、参加者も熱心に質問されました。

登録調査員中央研修（総務省主催）

中核的・指導的な役割を担う予定の登録調査員として資質向上を図ることを目的に実施されている研修です。本県からは1名の方が参加され、全体では82名の参加者が研修を受講されました。

開催日・会場 12月12日（木）～13日（金） 総務省統計局（東京都）

1. 講義「統計調査に活かすアサーションスキルと共感力研修」
2. 班別討議
テーマ①調査活動における成功した事例、成功に至った工夫
テーマ②調査活動において困った事例、困難だった事例（解決した場合は、その方法や方策含む）
3. 講義「統計調査に活かす交渉術・クレーム対応 アンガーマネジメント」（参加型講義）

10月18日「統計の日」街頭PR

鳥取県統計調査委員会が鳥取県内のショッピングセンターで統計調査への協力や令和2年の国勢調査について呼びかけました。

令和元年10月18日（金） イオン鳥取北店（鳥取市晩稲）
倉吉パープルタウン（倉吉市山根）
10月22日（火・祝）イオン日吉津店（日吉津村日吉津）



このほか、鳥取県統計調査委員会では、自主研修の開催や各種イベントでパネルの展示を行う等、調査員としてのスキルアップ・情報交換や統計調査への理解を広めるための活動を積極的に行っておられます。

令和元年度統計功労者表彰・統計セミナー

令和元年11月13日（水）米子市文化ホールにおいて開催し、50名を超える方々に参加いただきました。

◎統計功労者表彰



受賞者の皆様



表彰状及び副賞の授与

表彰式では、統計調査に功績のあった調査員や事業所に対し、各省の大臣表彰、鳥取県知事表彰が行われました。

各省大臣表彰は、総務省統計局統計調査部調査企画課の市川調査官から、鳥取県知事表彰は加藤令和新時代創造本部長から伝達されました。

受賞者を代表して、総務大臣表彰を受賞された遠藤和子調査員から謝辞が述べられました。



受賞者代表謝辞

◎統計セミナー

表彰式に引き続き、『デジタル化時代に向けた統計情報の役割～統計は「国家運営の基盤情報」であり「国民の共有財産」～』と題して、市川調査官を講師に御講演いただきました。





受賞の皆様おめでとうございます。



敬省略、順不同



総務大臣表彰

労働力調査

調査員 遠 藤 和 子 (米子市)

家計調査

調査員 影 日 まゆみ (鳥取市)

平成30年住宅・土地統計調査

調査員 中 村 博 子 (鳥取市)

指導員 都 田 凱 良 (倉吉市)

各種統計調査

調査員 坂 口 礼 子 (鳥取市)

調査員 山 本 圭 助 (岩美町)



厚生労働大臣表彰

労働統計関係

事業所 株式会社カワバタ印刷 (境港市)

事業所 鳥取県信用農業協同組合連合会 (鳥取市)

事業所 公益財団法人鳥取県文化振興財団 (鳥取市)

事業所 鳥取市立岩倉小学校 (鳥取市)

事業所 富士通株式会社鳥取支店 (鳥取市)

調査員 田 中 美 子 (米子市)

団 体 鳥取県



農林水産大臣表彰

2018漁業センサス

調査員 船 本 明 彦 (鳥取市)



経済産業大臣表彰

構造統計

調査員 漆 原 一 榮 (鳥取市)

調査員 漆 原 文 雄 (鳥取市)

調査員 岸 本 康 代 (鳥取市)

調査員 車 井 千 代 美 (若桜町)



経済産業省感謝状

経済産業省所管統計調査

調査員 岸 本 美 代 子 (智頭町)



鳥取県知事表彰

鳥取県鉱工業生産動態調査

事業所 株式会社 井ゲタ竹内 (境港市)

事業所 株式会社エースバック鳥取倉吉工場 (倉吉市)

事業所 FDK株式会社 鳥取工場 (岩美町)

事業所 オリイ精機株式会社 (鳥取市)

事業所 河原ソーイング株式会社 (鳥取市)

事業所 江府町地域振興株式会社水工場ヨーデル (江府町)

事業所 コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社大山工場 (伯耆町)

事業所 株式会社ササヤマ (鳥取市)

事業所 株式会社千代エンジニアリング (鳥取市)

事業所 ダイヘン産業機器株式会社 (鳥取市)

事業所 千代電子工業株式会社 (智頭町)

事業所 株式会社 鶴見製作所米子工場 (米子市)

事業所 株式会社寺方工作所 (北栄町)

事業所 鳥取部品株式会社 (琴浦町)

事業所 株式会社ファイナル (鳥取市)

事業所 株式会社マルテSF (鳥取市)

事業所 八幡物産株式会社 (米子市)

調査員 谷 尾 早 苗 (鳥取市)

調査員 手 嶋 朱 美 (倉吉市)

永年従事調査員

調査員 大 原 孝 子 (智頭町)

調査員 河 崎 美 也 子 (鳥取市)

調査員 古 林 由 美 香 (琴浦町)

調査員 高 津 孝 司 (江府町)

調査員 田 中 勢 一 郎 (鳥取市)

調査員 徳 永 健 (大山町)

調査員 秦 野 俊 美 (南部町)

調査員 林 加 代 子 (鳥取市)

調査員 松 本 亮 子 (境港市)

調査員 山 田 美 千 代 (鳥取市)

令和2年度に実施される

よろしく
お願いします。

統計調査 (調査員調査) の一覧

(令和2年3月現在)

市町村 調査名・調査基準日			市町村委託分		県直接調査分						
			令和2年国勢調査	2020年工業統計調査	小売物価統計調査 (動向編)	小売物価統計調査 (構造編)	家計調査	労働力調査	令和2年国勢調査 事後調査	毎月勤労統計調査 (第二種)	毎月勤労統計調査 (特別調査)
			10/1	6/1	毎月	隔月	毎月	毎月	11月中～下旬	毎月	7/31
鳥取市	○	○	○	○	○	○	対象市町村未定	○	○		
米子市	○	○		○		○		○	○		
倉吉市	○	○				○		○	○		
境港市	○	○			○	○		○			
岩美町	○	○	○			○			○		
若桜町	○	○							○		
智頭町	○	○						○	○		
八頭町	○	○						○			
三朝町	○	○				○					
湯梨浜町	○	○				○			○		
琴浦町	○	○				○		○			
北栄町	○	○				○		○	○		
日吉津村	○	○				○			○		
大山町	○	○				○			○		
南部町	○	○				○		○	○		
伯耆町	○	○							○		
日南町	○	○						○			
日野町	○	○						○			
江府町	○	○									

令和2年度の登録調査員研修

<予定>

区 分	対 象	実施時期
①登録調査員初任者研修	経験年数3年未満	5月
②都道府県別登録調査員研修	すべての登録調査員	7月以降
③登録調査員中央研修	・経験年数5年以上 ・平成30年～令和2年度の毎年度、調査活動をされた方 ・今後指導的立場を担っていく方	12月10日(木)～ 12月11日(金) 予定